

## 第7回ワクチンチーム会合（日本看護協会との意見交換）

### 《開催要領》

- ・開催日時：2021年12月1日（水） 15：40～16：05
- ・参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣  
佐藤 英道 厚生労働兼内閣府副大臣  
島村 大 厚生労働兼内閣府大臣政務官  
福井 トシ子 日本看護協会会長  
勝又 浜子 日本看護協会専務理事

### 《議事概要》

#### （堀内大臣）

- ・ワクチン接種について、自治体と連携いただいている医療従事者の皆様のご尽力に感謝。看護協会においては、潜在看護師等のマッチングや派遣に取り組んでいただいていると承知。
- ・3回目接種に向け、ご意見賜りたい。

#### （日本看護協会）

- ・各都道府県協会が運営するナースセンターから、潜在看護師18,364名を派遣。
- ・積極的に研修も実施しており、修了者は15,378名。
- ・初回接種当初はナースセンターの自治体認知度が低かった。
- ・多職種協同することが重要と考えており、慎重な作業を要する充填業務は薬剤師に、動線整理、経過観察等は事務職で活躍いただいた。

#### （日本看護協会）

- ・自治体が非常勤を直接雇用するとなると時間がかかって、研修修了後に待機期間が発生した。

#### （島村政務官）

- ・交互接種を円滑に進めるためのコツはあるか。

#### （日本看護協会）

- ・マネジメントの質が問われる。どのように組織化し、役割分担するか。医療安全の視点で作業工程管理をすることが必要。マネジメント経験のあるリーダーを置くことが重要。
- ・接種体制構築のためのマネジメント研修を終了した認定看護管理者を活用すると円滑に進む。
- ・筋肉注射実施前の説明から、実施、実施終了後の観察に至る一連の過程について、看護協会では研修を行っている。さらに研修受講者がこの一連の過程を適切に実施できるかどうか確認をして修了証を交付している。この点は、看護協会で確保した人材のアピールポイント。

#### （佐藤副大臣）

- ・看護師の早期派遣の観点ではどうか。

#### （日本看護協会）

- ・研修を終了している潜在看護師は比較的早く派遣できるという声はいただいている。先にスケジュールがわかる方と良い。

- ・ ナースセンター研修修了者が民間派遣会社に登録している場合もある。民間では確保できず、ナースセンターから民間に紹介するなど、人材の取り合いになる場面もあったようだ。

(堀内大臣)

- ・ 登録から派遣までの待機時間は長かったのか。

(日本看護協会)

- ・ 待機時間が長かった時期もあったが、初回接種には適時に貢献できたと自負。
- ・ 3回目接種では、早期派遣が肝要だと考えており、研修修了者と就業者数の差を縮めることを目標としたい。

(佐藤副大臣)

- ・ 早期の情報発信に努めるので3回目接種もお力添えいただきたい。

以上